

「国土交通省公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：（２）計画・設計から管理までの各段階における最適化 【２】新技術の採用】

FRPグリッドによるトンネル補強工法の採用

工事名：両筑二期畑島第1・第2トンネル改築工事他1件

概要：（従来）

（新）

コンクリート内巻工法

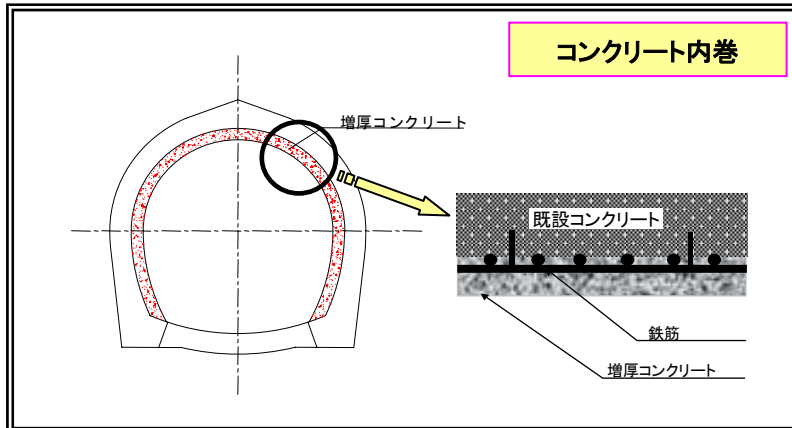
⇒

FRPグリッド増厚工法

- 効果
- 軽量かつ小規模な資機材を採用し、狭所作業での省力化、効率化より工期短縮。
 - 新素材の活用により、従来工法と比較して品質の安定と施工性の向上が可能。
 - 施工材料の低減、施工速度の向上によりコスト縮減。
■工事費を132百万円から96百万円に縮減。
（縮減額 36百万円、縮減率 約27%）

従来工法

コンクリート内巻

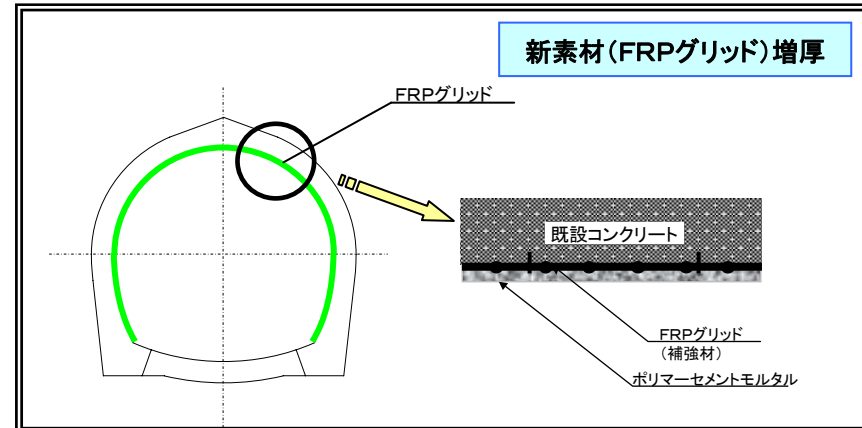


鉄筋+コンクリート打増し

鉄筋を組立て、コンクリートを打増しするため、
施工性が悪く、材料費、施工費が高い。

縮減工法

新素材 (FRPグリッド) 増厚



新素材貼付+ポリマーセメントモルタル吹き付け

FRPグリッドを貼付しポリマーセメントモルタルを吹き付けるのみで、施工効率も良好。